

福山城築城400年記念事業について

福山市文化振興課

築城400年事業推進担当課長

渡 邊 真 悟

文京区には、江戸時代、福山藩主を務めた阿部家の藩邸があり、老中首座として日米和親条約の締結遂行にあたられた福山藩阿部家第7代藩主の阿部正弘公が、文武一体の教育を進めるために江戸と福山に設立された藩校「誠之館」は、文京区立誠之小学校、広島県立福山誠之館高等学校へと引き継がれ、今も多くの人材を輩出しています。

このようなご縁をもとに文京区と本市は、2018年(平成30年)、住民の交流や文化・観光などの振興、災害時における相互応援などを行う相互協力に関する協定を締結しています。



福山城天守外観復元イメージ図(福山市提供)

市のシンボルとして親しまれています。

築城400年を機に、福山城をはじめ、市内の歴史文化資源の価値や魅力を再認識し、磨き上げ、発信することで、「城があるまち福山」を市民全体の誇りにつなげていくため、これまで、福山城及び周辺整備などを行う「福山城顕彰事業」をはじめ、福山の歴史・文化資源を活用した「歴史・文化事業」、市民団体等による「交流事業」や「市民企画事業」など各種事業を行ってきたところです。

現在、「令和の大普請」として、天守や湯殿、

月見櫓、鏡櫓の耐震改修と併せ、「全国唯一」とされる天守北側の鉄板張りの復元や福山城博物館のリニューアル工事を行っており、「築城400年記念日」とした2022年(令和4年)8月28日のリニューアルオープンをめざしているところです。

阿部家関係の行事としては、これまで阿部正弘公に関する講演会や企画展、阿部家からご提供いただいた資料をもとに制作した記念動画「雲の伯爵―阿部正直が見た福山」の公開など行ってきました。今後は、阿部正弘公がお国入りした際に提供された食事の



全国で一番駅に天守が近い福山城。天守奥には広島県立福山誠之館高等学校の校舎も見えます。

再現を計画しています。また、全国にあった藩校の特色や地域の教育文化を見直し、生かすべきは生かそうと、一般社団法人漢字文化振興協会(会長・水戸徳川家15代当主徳川斉正氏)の呼びかけにより、2002年(平成14年)から開催されている全国藩校サミットの福山大会が、築城400年となる2022年(令和4年)に開催されます。(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2021年から2022年に延期)

福山城築城400年となる2022年(令和4年)には、多くの皆様にぜひご来福いただけるよう諸準備を進めてまいります。

このたびは、誠之学友会様から記念事業についてご紹介いただける機会をいただきまして、誠にありがとうございました。福山城築城400年を契機に、阿部家ゆかりの文京区との連携をさらに深める機会とし、自治体間の連携や住民同士の交流が活性化され、相互の都市の発展につながることを願っております。